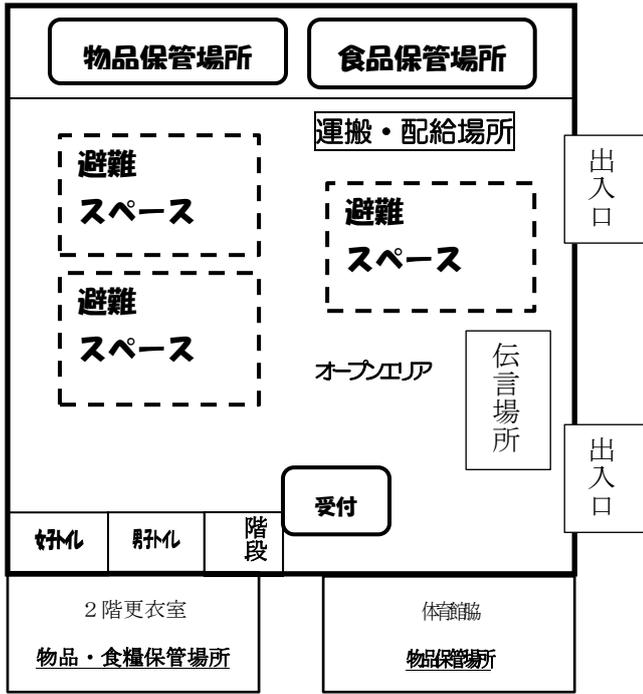


## 避難所(体育館)の割り振り



- ◆避難所を開設した場合はボランティアの協力を得て、高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦の避難者に配慮します。(ランチルーム等、校舎内の一部を解放します。)
- ◆谷戸小学校避難所の最大受け入れ可能試算人数は、1,162人となっています。(コロナ的状况下では人数を半減します)

## 地震に備えての準備

### 備蓄・非常持出用品



- ◆最低でも3日分の食料と3日分の飲料水(1人1日3リットル)が必要です。
- ◆簡易トイレ(凝固剤等)の準備も考慮しましょう。
- ◆避難するときのため、非常時用として必要最小限の持出品を備品袋などに準備しておきましょう。

# 谷戸小に 避難される方へ

谷戸小学校災害時避難所運営リーフレット

谷戸小学校は大規模災害が発生した場合に、校庭が避難広場、体育館が避難所になります。(自宅が安全な場合は自宅にとどまりましょう)

## 災害発生

震度5強以上の地震

※震度5弱以下の場合は  
災害状況に応じて判断



谷戸小に避難 (校庭に待機)

### 校舎や体育館等の安全確認

学校教職員、市の職員、避難所運営協議会委員等が協力して、避難所(体育館)の安全確認。確認終了後、受付を開

受付(名簿に記入)

### 避難スペースの指定

受付後、体育館に移動。

体育館等に避難

避難者で「避難所運営委員会」を立ち上げ

今後の避難生活に必要な  
様々な役割を自分たちで分担して、  
共同生活を送ります。

【自助・共助】



## 避難所にはいつ避難するの？

本校は「避難広場」と「避難所」に指定されています。これらの施設へは災害時に自宅が倒壊するなど**自宅での生活が困難になった時**に避難するものです。

感染症や共同生活によるストレスなどが懸念されますので、家族、親族、友人、知人宅等への避難を優先的にご検討ください。



### 避難する

- ・自宅が倒壊、火災等
- ・自宅での生活が困難
- ・自宅での生活が不安など



### 避難しない

- ・危険がなければ自宅にいます。3日分程度の食料を備蓄しておきましょう

## 避難所では食料や物資は配られるの？

避難所でも十分な物資の供給が届くまでは食料や物資の配布はできません。災害時には、可能な限り3日分程度の食料や物資を持って来られるように日頃から備えておいてください。



また、避難時には食料を分け合うなど避難者同士が助け合うことが大切です。本校に備蓄されている食料（アルファ化米）や受水槽から供給できる水には限りがありますので、日頃からご自身でご用意をお願いします。

また、避難時には食料を分け合うなど避難者同士が助け合うことが大切です。本校に備蓄されている食料（アルファ化米）や受水槽から供給できる水には限りがありますので、日頃からご自身でご用意をお願いします。

## 避難所にペットをつれてきてもいいの？

ペットを連れてくることは可能ですが屋内へは入れません。ペットエリアは屋外となります。

キャリーやケージを用意して来てください。ペット用のえさの配布はありません。各家庭で準備してください。

※介護動物は配慮します。



## 避難所で過ごす際の注意事項

- ・屋内はたき火やバーナーなどの火気は禁止です。
- ・車での避難はできません。
- ・禁酒禁煙です。
- ・立ち入り禁止区域（非開放エリア）には入らないでください。



- ・避難所で過ごすためには必ず名簿に名前や住所を記入してください。
- ・携帯品は必要最小限になります。



## 学校に子供たちが残っている場合は？

子供たちは保護者への引き渡しが原則となります。

それまで教室は学校で使用します。

いったん保護者に引き渡した後、または帰宅後の本校の子供たちは、一般の避難者と同様の扱いになります。



## 避難所を運営するのは「避難者」です！

避難所は避難して来た地域住民の自主運営となります。市職員や施設管理者（学校長）は、災害対策にあたるため、避難施設運営には携われません。自主運営にあたっては、さまざまな活動・作業を避難者のみなさんで協力・分担して行います。また、「避難施設管理運営マニュアル」を、備蓄倉庫に常備しています。学校が休みの時や夜間・早朝の場合は、市の職員である緊急初動要員が駆けつけ、避難広場の開錠、避難広場の開設等を行います。

※医療救護所は、本校内に開設します。また、近隣の広域避難場所はいこいの森公園です。